

革新的医療技術研究開発推進事業 (産学官共同型)について

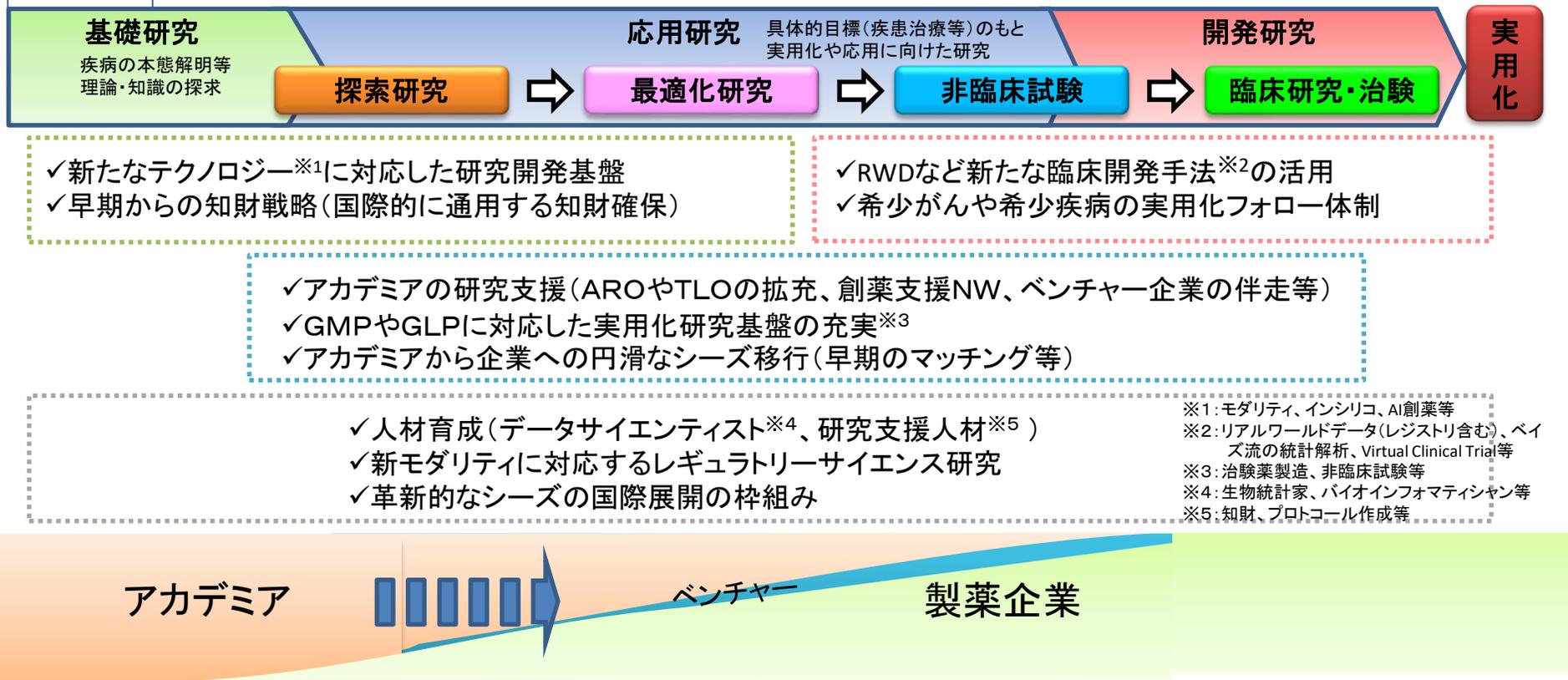
令和5年4月26日

内閣府 健康・医療戦略推進事務局

医薬品開発協議会 当面優先して議論する課題 令和2年度まとめ(令和3年3月29日)

「医薬品の研究開発における課題や当面優先して議論する項目」

主な課題



当面優先して議論する項目

- **アカデミアと企業のギャップを埋める仕組み**(非臨床等の実用化研究、早期の産学連携、知財等)
- **新たなテクノロジーや開発手法を活用した研究の推進体制**
- 新規モダリティ等に対応するレギュラトリーサイエンス研究
- 人材育成(データサイエンティスト※⁴、研究支援人材※⁵等)
- 医薬品の研究開発に関する環境整備

革新的医療技術研究開発推進事業（産学官共同型）

（科学技術・イノベーション推進事務局 日本医療研究開発機構担当室）

令和4年度補正予算額 80.0億円

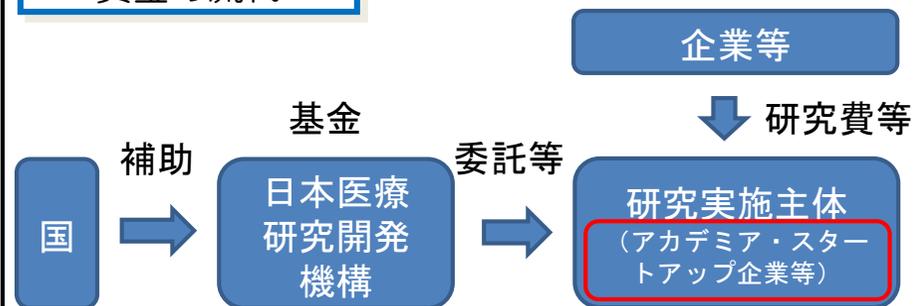
事業概要・目的

- 単独のアカデミアや企業では取り組みにくい研究開発領域について、スタートアップ企業も巻き込みつつ、複数年にわたって幅広く産学官の連携を通じた革新的なアプローチを行うことにより、世界最高水準の医療提供に向けた医薬品、医療機器等の研究開発を行う。
- 国費と企業原資の研究費を組み合わせることにより、産学官共同による医療上の必要性が高く特に緊要となった医薬品・医療機器等の研究開発を推進する。併せて、産学官連携の更なる高度化のため、高い技術と機動力のあるスタートアップ企業の参画を支援する。

事業イメージ・具体例

- 複数アカデミアと複数企業の連携による非競争領域の共同研究を、企業から提供されるリソースとAMEDからの委託費を組み合わせることで実施。AMEDの委託費は、研究進捗に応じた柔軟な資金配分（総額の範囲内での年度を超えた増減等）が可能。また、AMEDの伴走支援により産学連携を強力に推進する。
- 社会実装、競争領域を意識しつつ、その前段階の非競争領域を産学官それぞれの力を結集し研究開発を行い、成果の早期社会還元を目指す。
- 医療分野の研究開発におけるスタートアップ企業の役割の重要性に鑑み、産学官共同の研究開発に、高い技術と機動力のあるスタートアップ企業の参画を確保し、更なる連携と実用化につながる成果の発展を目指す。

資金の流れ



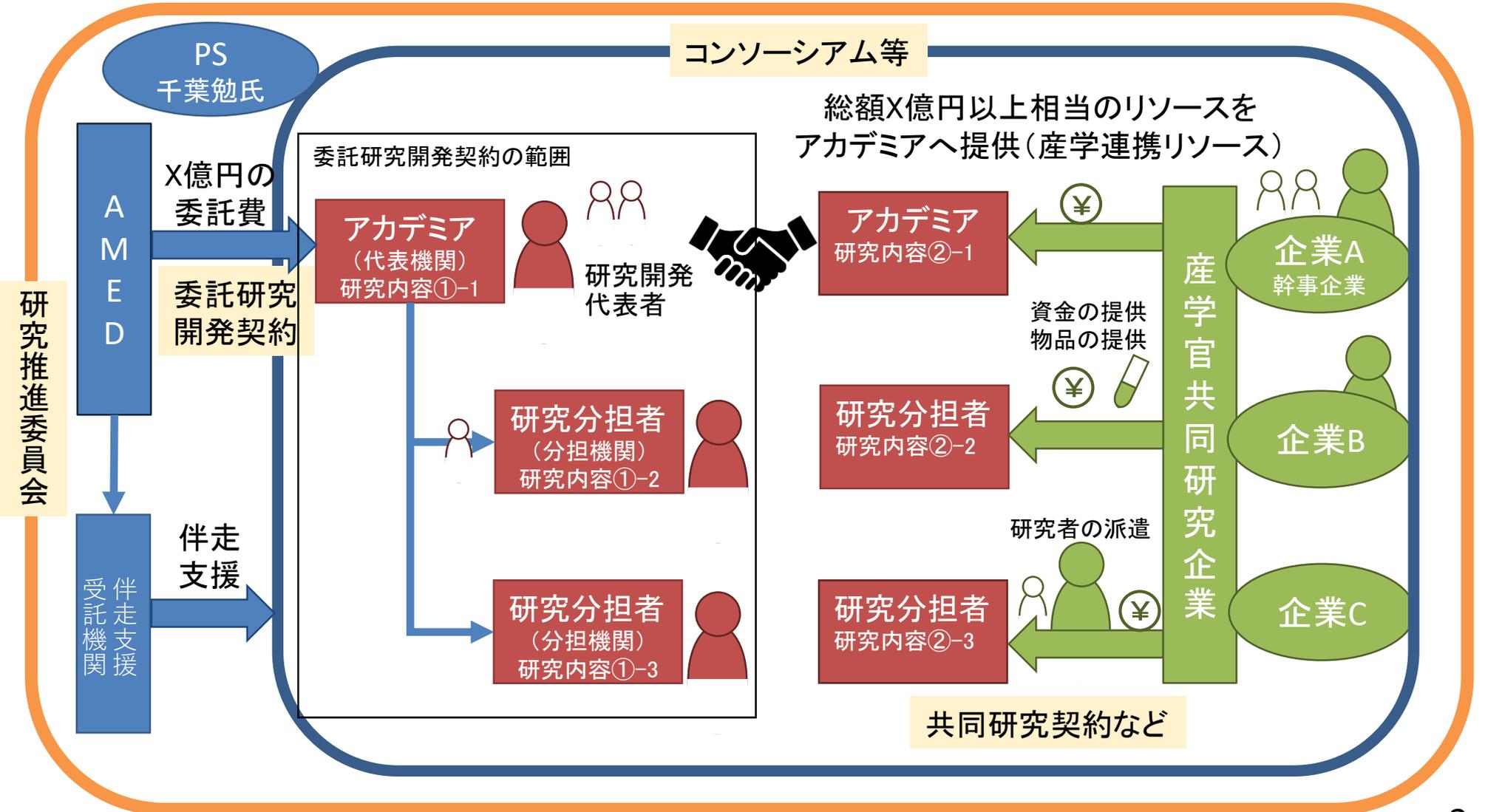
期待される効果

- ニーズに応える医薬品、医療機器等の研究開発が促進され、実用化成功確率の向上につながる。さらに本事業での産学官共同研究が今後の連携のモデルとなり、スタートアップ企業の振興や医療分野の研究開発エコシステムの活性化に繋がることが期待される。

事業スキーム（従来型）

凡例

- 研究開発担当者
- 研究分担者
- 連携研究代表者
- 産学官連携研究企業に所属し、本事業に参画する研究者



令和4年度公募採択課題 (従来型、一次公募)



○令和4年度公募過程

1. 公募期間等審査経緯

提案書受付期間	令和4年 8月26日～ 9月26日
書面審査	令和4年10月 4日～10月31日
ヒアリング審査	令和4年12月 8日

2. 応募件数等

申請数	9件
ヒアリング審査数	4件
採択数	1件

○採択課題

創薬研究を加速する革新的スクリーニングライブラリープラットフォームの産学連携構築
【研究代表者】 宮地弘幸(東京大学特任教授)

今後の予定

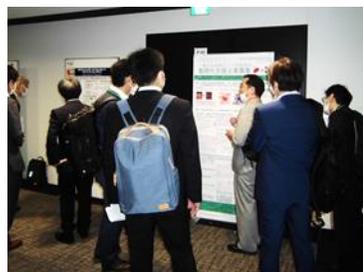
【従来型、二次公募】

令和5年2月17日～4月17日 従来型、二次公募
令和5年7月 ヒアリング審査予定
令和5年10月 研究開発開始予定

【スタートアップ型】

令和5年5月18日 スタートアップ型に関するワークショップ開催予定

その後、2回目のワークショップを開催し、夏頃の公募開始を目指す。



【写真】2022年5月に実施したWSの様子(企業・アカデミア対象)